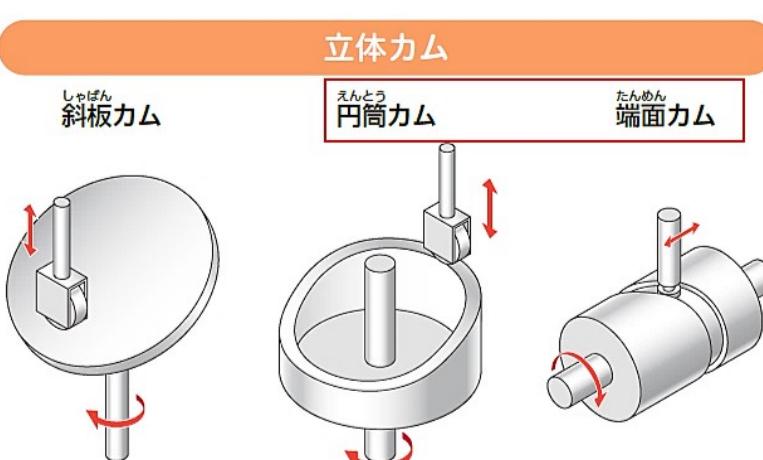
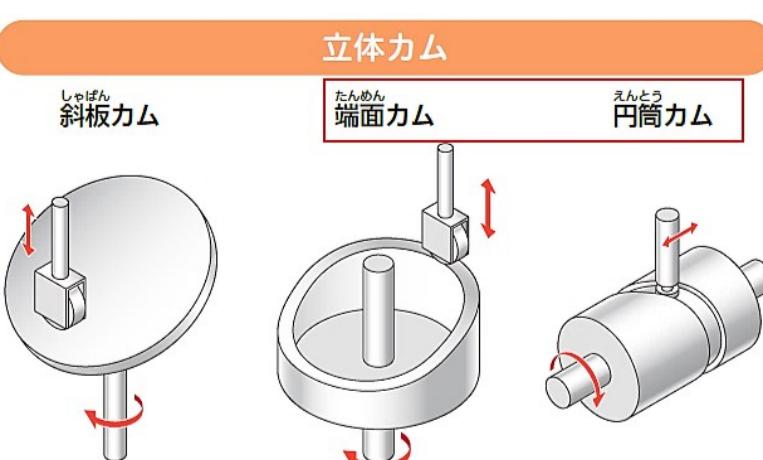


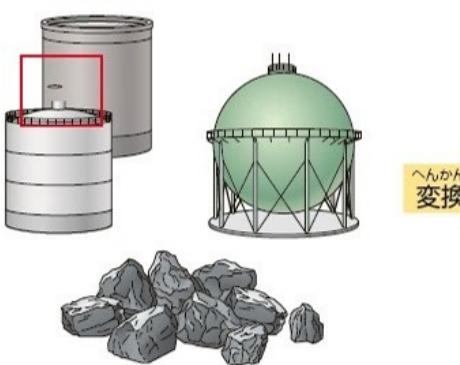
番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	161	図2右	<p style="text-align: center;">立体カム</p>  <p>しゃばん 斜板カム えんとう 円筒カム たんめん 端面カム</p>	<p style="text-align: center;">立体カム</p>  <p>しゃばん 斜板カム たんめん 端面カム えんとう 円筒カム</p>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	17	上段中	 <p>性能と価格のように両立が難しい場合は、折り合いをつける必要があるんだ。</p> <p>お手頃価格</p> <p>折り合いをつけることをトレードオフというよ。</p>	 <p>性能と価格のように両立が難しい関係性のことをトレードオフというよ。</p> <p>お手頃価格</p> <p>トレードオフを意識して折り合いをつけることが大切だよ。</p>

番号	訂正箇所		原 文
	ページ	行	
2	22	左	<p>私たちが取り組む 問題解決</p> <p>技術分野のガイド</p> <p>技術の「目」</p> <p>問題解決 はじめの一歩</p> <p>問題を発見して、</p> <p>問題</p> <p>問題</p> <p>使用する人</p>

番号	訂正箇所		訂 正 文
	ページ	行	
22	左		<p>私たちが取り組む 問題解決</p> <p>技術分野のガイドンス</p> <p>技術の「目」</p> <p>問題解決 はじめの一歩</p> <p>問題を発見して、</p> <p>問題</p> <p>問題</p> <p>使用する人</p>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文												
	ページ	行														
3	86	中段右	<p>海洋ごみが自然分解されるまでの期間</p> <table border="1"> <tr> <td>吸い殻 1.5~10年</td> <td>アルミ缶 200年</td> <td>おむつ 450年</td> </tr> <tr> <td>レジ袋 1~20年</td> <td>ペットボトル 450年</td> <td>釣りざお 600年</td> </tr> </table>	吸い殻 1.5~10年	アルミ缶 200年	おむつ 450年	レジ袋 1~20年	ペットボトル 450年	釣りざお 600年	<p>海洋ごみが自然分解されるまでの期間</p> <table border="1"> <tr> <td>吸い殻 1.5~10年</td> <td>アルミ缶 200年</td> <td>おむつ 450年</td> </tr> <tr> <td>レジ袋 1~20年</td> <td>ペットボトル 450年</td> <td>釣り糸 600年</td> </tr> </table>	吸い殻 1.5~10年	アルミ缶 200年	おむつ 450年	レジ袋 1~20年	ペットボトル 450年	釣り糸 600年
吸い殻 1.5~10年	アルミ缶 200年	おむつ 450年														
レジ袋 1~20年	ペットボトル 450年	釣りざお 600年														
吸い殻 1.5~10年	アルミ缶 200年	おむつ 450年														
レジ袋 1~20年	ペットボトル 450年	釣り糸 600年														
4	115	下段左	<p>●正しい誘引</p> <p>茎は余裕を持って結ぶ。</p> <p>交差させて、1回ねじる。</p> <p>支柱側に結び目を作る。</p> <p>ひもを支柱の節の上などに止めると、ずり落ちない。</p> <p>支柱と植物を止めるものとしてビニルタイがある。ビニルやプラスチックの中心に針金が入っている。</p>	<p>●正しい誘引</p> <p>茎は余裕を持って結ぶ。</p> <p>交差させて、1回ねじる。</p> <p>支柱側に結び目を作る。</p> <p>ひもを支柱の節の上などにとめると、ずり落ちない。</p> <p>支柱と植物を止めるものとしてビニルタイがある。ビニルやプラスチックの中心に針金が入っている。</p>												

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
5	139	図1	<p>エネルギー資源(化石燃料)</p>  <p>石油、石炭、天然ガスなど</p> <p>へんかん 変換</p>	<p>エネルギー資源(化石燃料)</p>  <p>石油、石炭、天然ガスなど</p> <p>へんかん 変換</p>

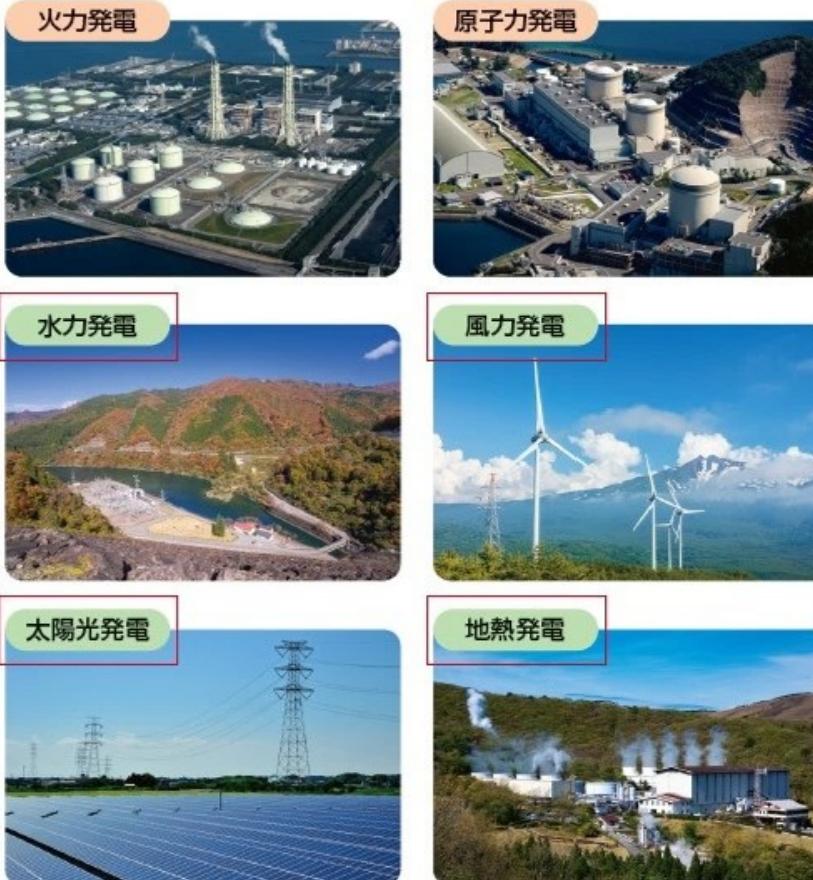
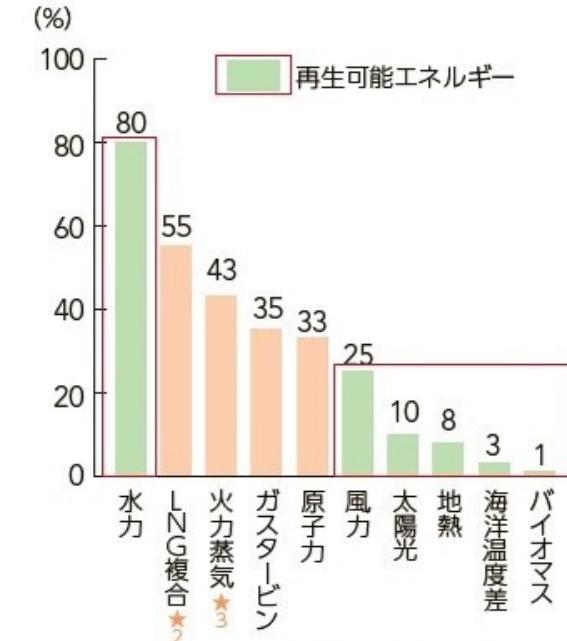
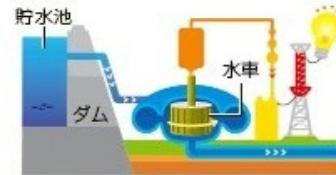
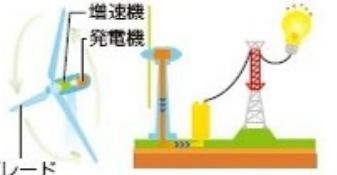
番号	訂正箇所		原 文
	ページ	行	
6	141	図3 図4	<p>図4 さまざまな発電方法</p>  <p>図3 同じ色の組み合わせ(意味付け)であり、色覚特性のある教師・生徒にとって、発電方法を2つのまとまりに分けて示していることを認識できない。</p>

図3 発電方式別のエネルギー変換効率



工業調査会「新エネルギー大事典」

色覚特性のある教師・生徒にとって、区別できない色の組み合わせとなっている。

番号	訂正箇所		原 文
	ページ	行	
142	図2	換の技術	<p>図2 さまざまな発電方法 D</p> <p>さまざまな発電方法の プラス面・マイナス面</p> <p>発電の方法により、エネルギー変換効率やCO₂排出量、発電にかかる費用などが異なります。</p> <p>○プラス面 △マイナス面</p>  <p>火力発電(石炭)</p>  <p>エネルギー変換効率 43% CO₂排出量 943g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 12.3円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○有限だが埋蔵地域に偏りがない。 △燃焼によりCO₂を大量に排出する。 △日本はほぼ輸入に頼っている。 <p>火力発電(石油)</p>  <p>エネルギー変換効率 43% CO₂排出量 738g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 30.6~43.4円/ kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○貯蔵・運搬が石炭、天然ガスに比べて容易。 △有限で埋蔵地域に偏りがある。 △燃焼によりCO₂を排出する。 <p>水力発電</p>  <p>エネルギー変換効率 80% CO₂排出量 11g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 11円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出はほとんどない。 △ダム式は自然環境などを破壊する。 △大規模なものは国内ではほぼ増やせない。 <p>地熱発電</p>  <p>エネルギー変換効率 8% CO₂排出量 13g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 16.9円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出はほとんどない。 △開発コストが高く、場所の選定が困難。 △環境破壊、景観を損ねる等のおそれ。 <p>風力発電</p>  <p>エネルギー変換効率 25% CO₂排出量 26g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 21.6円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源にコストがかからない。 ○CO₂排出はほとんどない。 △発電量が安定していない。 △環境破壊や低周波騒音の問題がある。 <p>再生可能エネルギー</p>

p.141図3と同じ色の組み合わせ(意味付け)であり、色覚特性のある教師・生徒にとって、発電方法を上下段で2つのまとまりに分けて示していることを認識できない。

番号	訂正箇所		原 文	術
	ページ	行		
143	図2		<p>火力発電(コンバインドサイクル発電)</p> <p>エネルギー変換効率 55% CO₂排出量 474g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 13.7円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出量がほかの火力発電と比べて少ない。 △燃焼によりCO₂を排出する。 △化石燃料を使用している。 <p>原子力発電</p> <p>エネルギー変換効率 33% CO₂排出量 19g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 10.1円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出はほとんどない。 △事故が起きた際の安全性に課題。 △使用済み核燃料の処分方法。 <p>その他の発電方法</p> <p>水素エネルギー/燃料電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発電時にCO₂を排出しない。 △水素の生産が課題。 <p>タイトオイル/シェールガスなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵量が多い。 ○安定して電気を供給できる。 △CO₂を排出する。 △採掘の際の環境破壊。 	<p>1章</p> <p>2章</p> <p>3章</p>

太陽光発電



エネルギー変換効率 10% CO₂排出量 38g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 29.4円 /kWh

- 資源にコストがかからない。
- CO₂排出はほとんどない。
- △発電量が安定していない。
- △日射量が少ない場所では適さない。

バイオマス発電



エネルギー変換効率 1% 発電にかかる費用 29.7円 /kWh

- 新たなCO₂排出は少ない。
- 廃棄物を利用する場合、資源の無駄が減る。
- △エネルギー変換効率が低い。
- △安定した燃料調達に課題。

再生可能エネルギー その他の発電方法

太陽熱

- 導入コストが低い。
- △発電量が不安定。

海洋(波力、海流、潮流、潮汐力)

- 発電量が安定している。
- △建設や保守が困難。

温度差発電

(海洋、地熱、工場、発電所)

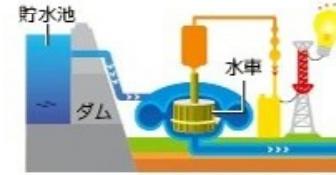
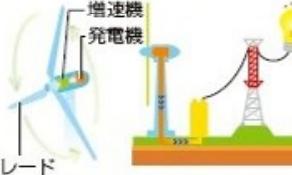
- 資源は無尽蔵。
- △発電量が小さい。

★エネルギー変換効率は、工業調査会「新エネルギー大事典」、CO₂排出量は、(一財)電力中央研究所「日本における発電技術のライフサイクルCO₂排出量総合評価」、発電にかかる費用は、発電コスト検証ワーキンググループ「長期エネルギー需給見通し小委員会に対する発電コスト等の検証に関する報告(2015年5月26日)」による。発電にかかる費用は、燃料費や設備利用率によって変動する。

番号	訂正箇所		訂 正 文																						
	ページ	行																							
141	図3 図4		<p>図3 発電方式別のエネルギー変換効率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電方式</th> <th>エネルギー変換効率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水力</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>LNG複合★2</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>火力蒸気★3</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>原子力</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>風力</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>太陽光</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>地熱</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>海洋温度差</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>バイオマス</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>工業調査会「新エネルギー大事典」</p>	発電方式	エネルギー変換効率 (%)	水力	80	LNG複合★2	55	火力蒸気★3	43	ガスタービン	35	原子力	33	風力	25	太陽光	10	地熱	8	海洋温度差	3	バイオマス	1
発電方式	エネルギー変換効率 (%)																								
水力	80																								
LNG複合★2	55																								
火力蒸気★3	43																								
ガスタービン	35																								
原子力	33																								
風力	25																								
太陽光	10																								
地熱	8																								
海洋温度差	3																								
バイオマス	1																								

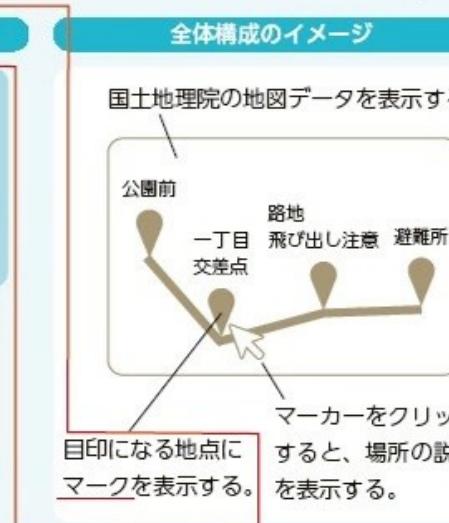
図4 さまざまな発電方法

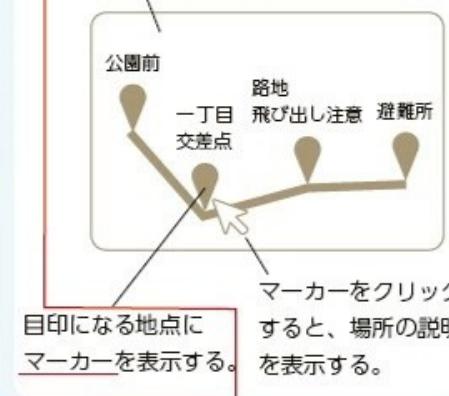


番号	訂正箇所		訂 正 文
	ページ	行	
142	図2	換の技術	<p>図2 さまざまな発電方法 D</p> <p>さまざまな発電方法の プラス面・マイナス面</p> <p>発電の方法により、エネルギー変換効率やCO₂排出量、発電にかかる費用などが異なります。</p> <p>○プラス面 △マイナス面</p>  <p>火力発電(石炭)</p>  <p>エネルギー変換効率 43% CO₂排出量 943g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 12.3円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○有限だが埋蔵地域に偏りがない。 △燃焼によりCO₂を大量に排出する。 △日本はほぼ輸入に頼っている。 <p>火力発電(石油)</p>  <p>エネルギー変換効率 43% CO₂排出量 738g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 30.6~43.4円/ kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○貯蔵・運搬が石炭、天然ガスに比べて容易。 △有限で埋蔵地域に偏りがある。 △燃焼によりCO₂を排出する。 <p>水力発電</p>  <p>エネルギー変換効率 80% CO₂排出量 11g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 11円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出はほとんどない。 △ダム式は自然環境などを破壊する。 △大規模なものは国内ではほぼ増やせない。 <p>地熱発電</p>  <p>エネルギー変換効率 8% CO₂排出量 13g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 16.9円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出はほとんどない。 △開発コストが高く、場所の選定が困難。 △環境破壊、景観を損ねる等のおそれ。 <p>風力発電</p>  <p>エネルギー変換効率 25% CO₂排出量 26g -CO₂/kWh 発電にかかる費用 21.6円 /kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源にコストがかからない。 ○CO₂排出はほとんどない。 △発電量が安定していない。 △環境破壊や低周波騒音の問題がある。 <p>再生可能エネルギー</p>

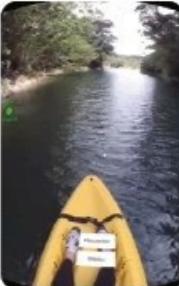
番号	訂正箇所		訂 正 文												
	ページ	行													
143	図2		<p style="text-align: right;">術 1章 2章 3章</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 33%;"> <p>火力発電(コンバインドサイクル発電)</p> <table border="1"> <tr> <td>エネルギー変換効率 55%</td> <td>CO₂排出量 474g -CO₂/kWh</td> <td>発電にかかる費用 13.7円 /kWh</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出量がほかの火力発電と比べて少ない。 △燃焼によりCO₂を排出する。 △化石燃料を使用している。 </div> <div style="width: 33%;"> <p>原子力発電</p> <table border="1"> <tr> <td>エネルギー変換効率 33%</td> <td>CO₂排出量 19g -CO₂/kWh</td> <td>発電にかかる費用 10.1円 /kWh</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○安定して電気を供給できる。 ○CO₂排出はほとんどない。 △事故が起きた際の安全性に課題。 △使用済み核燃料の処分方法。 </div> <div style="width: 33%;"> <p>その他の発電方法</p> <p>水素エネルギー/燃料電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発電時にCO₂を排出しない。 △水素の生産が課題。 <p>タイトオイル/シェールガスなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵量が多い。 ○安定して電気を供給できる。 △CO₂を排出する。 △採掘の際の環境破壊。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 48%;"> <p>太陽光発電</p> <table border="1"> <tr> <td>エネルギー変換効率 10%</td> <td>CO₂排出量 38g -CO₂/kWh</td> <td>発電にかかる費用 29.4円 /kWh</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○資源にコストがかからない。 ○CO₂排出はほとんどない。 △発電量が安定していない。 △日射量が少ない場所では適さない。 </div> <div style="width: 48%;"> <p>バイオマス発電</p> <table border="1"> <tr> <td>エネルギー変換効率 1%</td> <td>CO₂排出量 38g -CO₂/kWh</td> <td>発電にかかる費用 29.7円 /kWh</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○新たなCO₂排出は少ない。 ○廃棄物を利用する場合、資源の無駄が減る。 △エネルギー変換効率が低い。 △安定した燃料調達に課題。 </div> <div style="width: 100%; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>再生可能エネルギー その他の発電方法</p> <p>太陽熱</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入コストが低い。 △発電量が不安定。 <p>海洋(波力、海流、潮流、潮汐力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発電量が安定している。 △建設や保守が困難。 <p>温度差発電 (海洋、地熱、工場、発電所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源は無尽蔵。 △発電量が小さい。 </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">★エネルギー変換効率は、工業調査会「新エネルギー大事典」、CO₂排出量は、(一財)電力中央研究所「日本における発電技術のライフサイクルCO₂排出量総合評価」、発電にかかる費用は、発電コスト検証ワーキンググループ「長期エネルギー需給見通し小委員会に対する発電コスト等の検証に関する報告(2015年5月26日)」による。発電にかかる費用は、燃料費や設備利用率によって変動する。</p>	エネルギー変換効率 55%	CO ₂ 排出量 474g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 13.7円 /kWh	エネルギー変換効率 33%	CO ₂ 排出量 19g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 10.1円 /kWh	エネルギー変換効率 10%	CO ₂ 排出量 38g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 29.4円 /kWh	エネルギー変換効率 1%	CO ₂ 排出量 38g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 29.7円 /kWh
エネルギー変換効率 55%	CO ₂ 排出量 474g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 13.7円 /kWh													
エネルギー変換効率 33%	CO ₂ 排出量 19g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 10.1円 /kWh													
エネルギー変換効率 10%	CO ₂ 排出量 38g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 29.4円 /kWh													
エネルギー変換効率 1%	CO ₂ 排出量 38g -CO ₂ /kWh	発電にかかる費用 29.7円 /kWh													

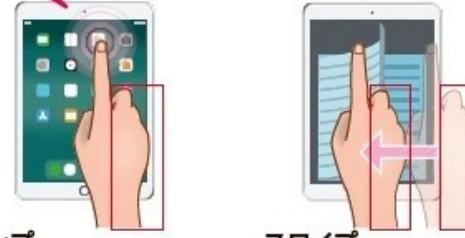
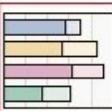
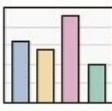
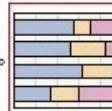
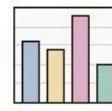
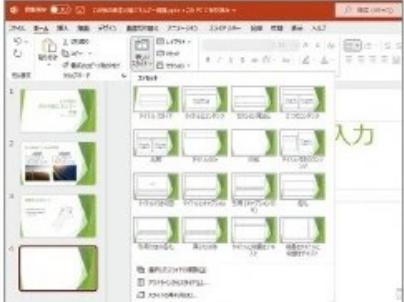
番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
7	158	図1	<p>図1 回転速度と回転力（自転車の例）</p> <p>A</p> <p>後車輪側（ひどうじく） 歯数 24</p> <p>前車輪側（くどうじく） 歯数 36</p> <p>速度伝達比 0.67</p> <p>B</p> <p>後車輪側（ひどうじく） 歯数 12</p> <p>前車輪側（くどうじく） 歯数 36</p> <p>速度伝達比 0.33</p>	<p>図1 回転速度と回転力（自転車の例）</p> <p>A</p> <p>後車輪側（ひどうじく） 歯数 24</p> <p>ペダル側（くどうじく） 歯数 36</p> <p>速度伝達比 0.67</p> <p>B</p> <p>後車輪側（ひどうじく） 歯数 12</p> <p>ペダル側（くどうじく） 歯数 36</p> <p>速度伝達比 0.33</p>
8	181	中段右	<p>★1 0Ω調整 赤テスト棒と黒テスト棒を接触させてから 0Ω調整器つまみを回して、指針を 0Ωに合わせること。</p>	<p>★1 0Ω調整 赤テスト棒と黒テスト棒を接触させてから 0Ω調整のつまみを回して、指針を 0Ωに合わせること。</p>
9	222	中段右	<p>受信者側からも同じようにメッセージを送信することができる。</p>	<p>受信者側からも同じようにメッセージを送信することができる。</p>

番号	訂正箇所		原 文
	ページ	行	
10	236	下段中	<p>2 解決策の構想（設計・計画） 必要な情報と情報処理の流れを考えよう。</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 33%;"> <p>設計要素の検討</p> <p>必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地図を表示する。 <input type="checkbox"/> 避難経路を表示する。 <input type="checkbox"/> マーカーをクリックすると場所の説明を表示する。 <p>近くの地図が最初から表示されると使いやすい。</p> <p>場所の説明は常に表示されている必要はない。</p> </div> <div style="width: 33%;"> <p>国土地理院の地図データを表示する。</p>  </div> <div style="width: 33%;"> <p>アクティビティ図</p> <pre> graph TD Start(()) --> ShowMap[地図を表示] ShowMap --> ShowMarker[指定した地点にマーカーを表示] ShowMarker --> ClickMarker{マーカーのクリックを検知} ClickMarker -- [公園前] --> ParkExplain[公園前の説明を表示] ClickMarker -- [交差点] --> IntersectionExplain[交差点の説明を表示] ClickMarker -- [路地] --> LaneExplain[路地の説明を表示] ClickMarker -- [避難所] --> EmergencyShelterExplain[ひなづの避難所の説明を表示] </pre> </div> </div> <p>236</p>

番号	訂正箇所		訂 正 文
	ページ	行	
			<p>2 解決策の構想（設計・計画） 必要な情報と情報処理の流れを考えよう。</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>設計要素の検討</p> <p>必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地図を表示する。 <input type="checkbox"/> 避難経路を表示する。 <input type="checkbox"/> マーカーをクリックすると場所の説明を表示する。 <p>近くの地図が最初から表示されると使いやすい。</p> <p>場所の説明は常に表示されている必要はないか。</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>全体構成のイメージ</p> <p>国土地理院の地図データを表示する。</p>  <p>マーカーをクリックすると、場所の説明を表示する。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>アクティビティ図</p> <pre> graph TD Start(()) --> ShowMap[地図を表示] ShowMap --> ShowMarker[指定した地点にマーカーを表示] ShowMarker --> ClickMarker[マーカーのクリックを検知] ClickMarker --> ShowExplain[説明を表示] ClickMarker --> End(()) ClickMarker --> ParkMarker[公園前] ClickMarker --> IntersectionMarker[交差点] ClickMarker --> SideStreetMarker[路地] ClickMarker --> EmergencyShelterMarker[避難所] ParkMarker --> ParkExplain[公園前の説明を表示] IntersectionMarker --> IntersectionExplain[交差点の説明を表示] SideStreetMarker --> SideStreetExplain[路地の説明を表示] EmergencyShelterMarker --> EmergencyShelterExplain[避難所の説明を表示] </pre> </div> </div> <p>236</p>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
11	245	中段左	<p>全体構成のイメージ(ラフスケッチ)</p>	<p>全体構成のイメージ(ラフスケッチ)</p>
12	253	下段右	<p>例3 問題の発見</p> <p>さくらんぼ農家が、収穫の時期に人手不足で困っている。</p> <p>課題の設定</p> <p>さくらんぼの実の熟し具合を判断し、自動的に収穫するロボットを作る。</p> <p>プログラムの例</p> <p>① 赤外線センサが収穫物を感じる。</p> <p>② モータが回転する。</p> <p>③ 平行クランク機構が伸びる。</p>	<p>例3 問題の発見</p> <p>さくらんぼ農家が、収穫の時期に人手不足で困っている。</p> <p>課題の設定</p> <p>さくらんぼの実の熟し具合を判断し、自動的に収穫するロボットを作る。</p> <p>プログラムの例</p> <p>① 赤外線センサが収穫物を感じる。</p> <p>② モータが回転する。</p> <p>③ 平行クランク機構が伸びる。</p>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
13	265	下段中	 <p>使用者がカヤックをこぐ動きを検知して、ロボットが実際のカヤックを動かす。使用者はカヤックのこぐときの重さや、カヤックの揺れを感じることができ、VR映像と組み合わせることで高い臨場感が得られる。</p>	 <p>使用者がカヤックをこぐ動きを検知して、ロボットが実際のカヤックを動かす。使用者はカヤックをこぐときの重さや、カヤックの揺れを感じることができ、VR映像と組み合わせることで高い臨場感が得られる。</p>
14	268	中段左	<p>「問題の発見」のためのステップ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用する人（ユーザ）のニーズは何だろう（ニーズの探究）。 2. どのような技術を用いて解決活動ができるだろう（シーズの探究）。 3. 技術の見方・考え方を働かせて、問題を見つけよう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 社会 安全 環境 経済 </div> <p> p.22 私たちが取り組む問題解決</p>	<p>p.270他、同様の箇所に統一</p> <p>「問題の発見、課題の設定」のためのステップ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用する人（ユーザ）のニーズは何だろう（ニーズの探究）。 2. どのような技術を用いて解決活動ができるだろう（シーズの探究）。 3. 技術の見方・考え方を働かせて、問題を見つけよう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 社会 安全 環境 経済 </div> <p> p.22 私たちが取り組む問題解決</p>
15	271	下段左	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> プログラムの例 解決策の例 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> プログラムの例 解決策の例 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
16	276	下段左	 <p>タップ 指やタッチペンで1回押して、画面上のメニューなどを選択する。</p> <p>スワイプ 指やタッチペンをスライドさせて、画面などを上下左右に移動する。</p> <p>指の数が6本に見え、誤解を生じる。</p>	 <p>タップ 指やタッチペンで1回押して、画面上のメニューなどを選択する。</p> <p>スワイプ 指やタッチペンをスライドさせて、画面などを上下左右に移動する。</p>
17	280	下段右	<p>帯グラフ：数値の比較や内訳の比較をする。</p>  <p>棒グラフ：項目間の数値の比較や変化を見る。</p> 	<p>帯グラフ：内訳や比率の比較をする。</p>  <p>棒グラフ：項目間の数値の比較や変化を見る。</p> 
18	281	中段左	<p>スライドの作成</p> <p>文書に図や写真を挿入します。</p> 	<p>スライドの作成</p> <p>レイアウトを決めて、文字を入力します。</p> 